

# この学校にわたしたち

2022. 09. 15 N028

## 秋に実り、冬に蓄える…



以前はセミ時雨を聞くとああ、夏休みがスタートしたなあと感じていましたが、今年は例年になく雨天続き・酷暑続きでセミの声すらあまり聞かなかった様な気がします。昼、我が家の紫陽花の根元に引っかかったアブラゼミがいて、自力で逃げられそうもなかったのでそっと助け船を出し、逃がしてやりました。夕方、このたよりに書いていると窓の外にはツクツクホウシが鳴いています。セミの季語は一般的には“夏”ですが、“ツクツクホウシ”は秋の季語とされています。暦の上

で立秋を過ぎ、台風8号により少し気温が下がったため鳴き出したのでしょうか。ご存知の通り、セミは数年を土の中で過ごし、成虫になった後は数週間から1ヶ月程度しか生きられないと言います。大音量のセミ時雨は一生懸命生きていることの証明とも感じられます。

庭のアブラゼミを「精いっぱい生きてね」と心で願いながら逃がしてやりました。

江戸時代末期の思想家・教育者である有名な吉田松陰は「春に種を蒔き、夏に苗を植え、秋に実り、冬に蓄える」と言い、人の命にもその長さにかかわらず、四季があると考えていました。松陰は29歳でなくなりますが自身の晩年も実りを収穫し、蓄えの季節に入っていたと感じていたようです。事実、松下村塾が排出した人材が後に新しい時代を切り開くことになっていきます。

さて、2学期が始まって2週間。まだまだ日中はまだまだ暑いですが、少しずつ朝晩の風に涼しさを感じるようになってきました。カレンダー上では季節は秋。子どもたちが今運動会に向けて精一杯頑張っている姿は“学校のセミ時雨”であると言えるでしょう。

また、4月、新学年となり1人1人が新たな目標を持ち、自分で種を蒔き、苗を植えてきたものがこの2学期にはたくさんの実りとなって収穫できることと思います。数値や結果に限らず、子どもたちが2学期の終業式で“自分は頑張った”と胸を張っていえるよう、担任をはじめ、職員一同、指導や励ましをしていきますので今後も保護者・地域の皆様のご理解・ご協力をお願いします。

**11月10日に鼓笛隊パレードを行います！**

コロナ禍前は、運動会の終わりに鼓笛隊の演奏を行っていたそうですが、今年度は夏休み明けの短期間で運動会の練習と鼓笛隊の練習を同時に行っていくことは練習時間が多くなり、当日も含めて児童の体力・熱中症のリスクが高まること、また、落ち着いて学習時間を確保するために11月10日に鼓笛隊パレードを行うこととしました。白山作業所から学校までを行進する予定です。運動会につきましても開会式・閉会式をできるだけ短時間で行うなど運動会そのものに対する見直しを校内で行い、それに伴い、運動会の練習量も大幅に削減し、効率よく練習を行っていきます。様々、ご意見があることは承知しておりますが、児童の安全、学習時間の補償という点でのご理解をお願いします。